

ふわぐんたるいちょうふちゅう
岐阜県不破郡垂井町府中

みのこくふあと

国史跡

美濃国府跡

平成18年1月26日指定

やまとちょうてい りつりょうせい
7世紀の終わりから8世紀初めにかけて、大和朝廷は律令政
じ 治の完成をめざしていました。全国を国と郡に分け、それぞれに
ごくふ ぐんが みのこく ひだ
國府、郡衙などの役所をおきました。岐阜県は当時美濃国と飛驒
こく こく みのこく みのこくふ
国に分けられており、美濃国の役所としての美濃国府があかれ、
たるいちょうふちゅう はっくつ
それが現在の垂井町府中にあったことが13年にわたる発掘調査
によってわかつてきました。



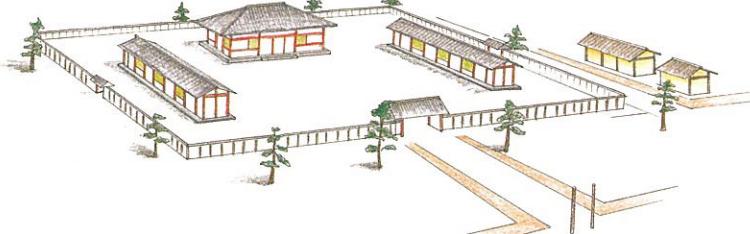
垂井町教育委員会

おしゃべり! 美濃国府

Q & A

Q 美濃国府にはどんな建物が建っていたの?

A 美濃国府があった時代の地層は、現在の地表面よりも60~150cmくらい下に眠っています。発掘調査によって、その時代の地層まで掘り下げるとき、当時建っていた建物の、柱の立っていた痕がわかります。その柱の痕から、どれくらいの大きさの建物が、どんな配置で建っていたかがわかります。



美濃国府跡復元図



正殿の建物跡



東脇殿の建物跡



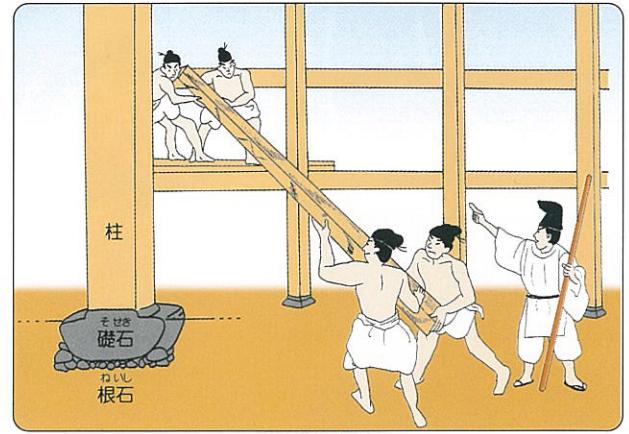
西脇殿の基礎

Q 地面にあいている穴は何の穴?

A 発掘調査でわかった、柱の穴の痕です。掘立柱建物といって、地面に1つ四方くらいの四角い穴を掘って、そこに柱をすえつける方法で建てられた建物です。美濃国府跡では、掘立柱建物のほかに礎石建物といって、柱の下に石(礎石)を置く方法で建てられた建物も見つかっています。



西脇殿の礎石



礎石建物

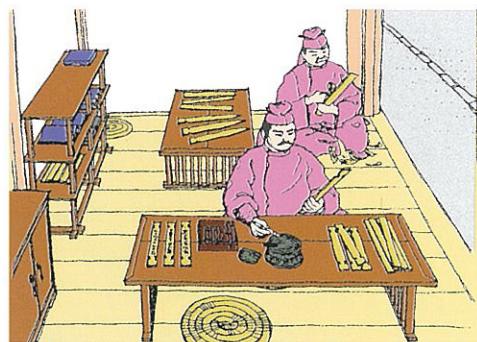


美濃国府跡
[垂井町府中]
南宮御旅神社の周辺に美濃国府跡の遺跡が眠っています。

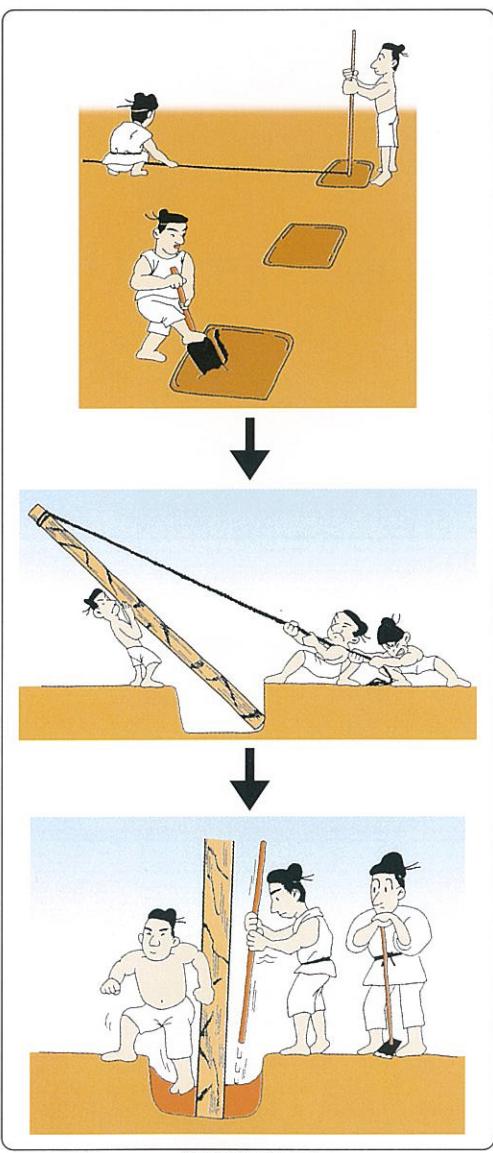


Q 写真の丸いものは何?

A 国府で働いていた役人たちの仕事に欠かせないもので、「円面鏡」という鏡です。文字を扱う役人たちは、鏡、墨、筆、水滴(墨)をするための水を入れる容器、木簡(文字を書く木札)、小刀(字をまちがえたときに木簡を切る道具)が必需品でした。



役人たちの仕事風景



推定 東山道と国府・駅



[南宮大社 所蔵]

Q この鈴は何のための鈴?

A 奈良時代の都は平城京で、今の奈良市(奈良県)にありました。平城京と地方は、7つの主要な道路で結ばれていて、美濃国府の近くには東山道が通っていました。東山道などの道路には約16kmごとに「駅」がもうけられ、駅にいる馬を使ってリレー方式で駅から駅へと文書などが伝えられました。この鈴は、その駅にいる馬を使うのに必要とされたもので、「駅鈴」といいます。写真は、南宮大社に伝わる駅鈴です。

Q こくふ こくぶんじ 国府と国分寺、似てるけど何が違うの？

A じんきがんねん そくい しょうむてんのう でんせんびょう 神亀元年(724)に即位した聖武天皇は、当時、伝染病が流行したり、凶作が続いたため、全国に「国分寺」をつくり、仏教の力でわざわいを取りのぞこうとしました。そこで天平13年(741)に、全国の国府の近くに国分寺を建てさせる命令を出したのです。簡単にいえば、国府は役所、国分寺は寺院で、どちらも律令政府が全国に建てさせたものですが、その役割はまったく違ったものでした。



美濃国分寺跡

[大垣市青野町]

《この時代のできごと》

和暦	西暦	できごと
たいか がん 大化 元	645	たいか かいしん りつりょうせいじ 大化の改新がはじまり、律令政治がすすめられる
てんじ 天智 7	668	なかのあおえのあうじ そくい てんじてんのう 中大兄皇子が即位し、天智天皇となる
てんじ 天智 9	670	こせき こうごねんじやく 全國的な戸籍がつくられる(庚午年籍)
てんむ がん 天武 元	672	じんしん らん あああまのあうじ てんむてんのう 壬申の乱があこり、大海人皇子が天武天皇となる
じとう 持統 8	694	ふじわらきょう 都を藤原京に移す
たいほう がん 大宝 元	701	たいほうりつりょう りつりょう 大宝律令が完成し、律令による政治体制が整う
わどう がん 和銅 元	708	わどうかいちん 和同開珎ができる
わどう 和銅 3	710	ふじわらきょう 都を平城京に移す
わどう 和銅 5	712	こじき 『古事記』完成
ようろう 養老 3	720	にほんしょき 『日本書紀』完成
てんびょう 天平 13	741	しょうむてんのう こくぶんじ こくぶんにじ 聖武天皇が国分寺・国分尼寺を建てさせる命令を出す
てんびょう 天平 15	743	しょうむてんのう ねが 聖武天皇が大仏をつくる願いを出す
てんびょうしうぼう 天平勝宝 4	752	とうだいじ かいけんくよう 東大寺の大仏が完成し、開眼供養会があこなわれる
えんりやく 延暦 3	784	かんむてんのう みやこ ながおかきょう 桓武天皇が都を長岡京に移す
えんりやく 延暦 13	794	かんむてんのう みやこ へいあんきょう 桓武天皇が都を平安京に移す

タルイピアセンター歴史民俗資料館

〒503-2121 岐阜県不破郡垂井町2443-1
TEL 0584-23-3746 / FAX 0584-23-3745